

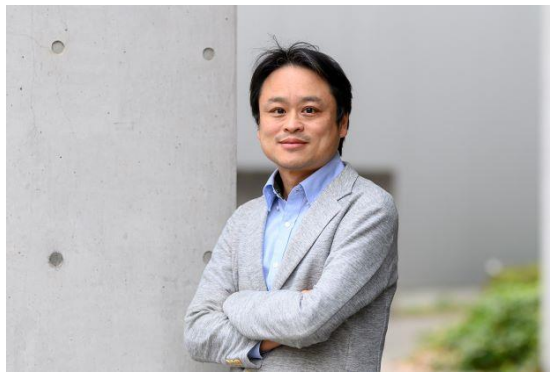
G空間情報センター

ニュースレター 第28号 2021年11月発行

【目次】

- [1. TOPICS 「G空間情報センター 運営開始5周年を迎えて」](#)
- [2. 上位アクセス状況\(集計期間：2021.9.1-10.31\)](#)
- [3. 最新のお知らせ](#)
- [4. ユニバーサル社会の実現に向けた歩行者移動支援に関する取組 \(バリアフリー・ナビプロジェクトの紹介\)](#)
- [5. 注目のコンテンツ紹介](#)
- [6. 寄稿募集](#)

1. TOPICS 「G空間情報センター 運営開始5周年を迎えて」

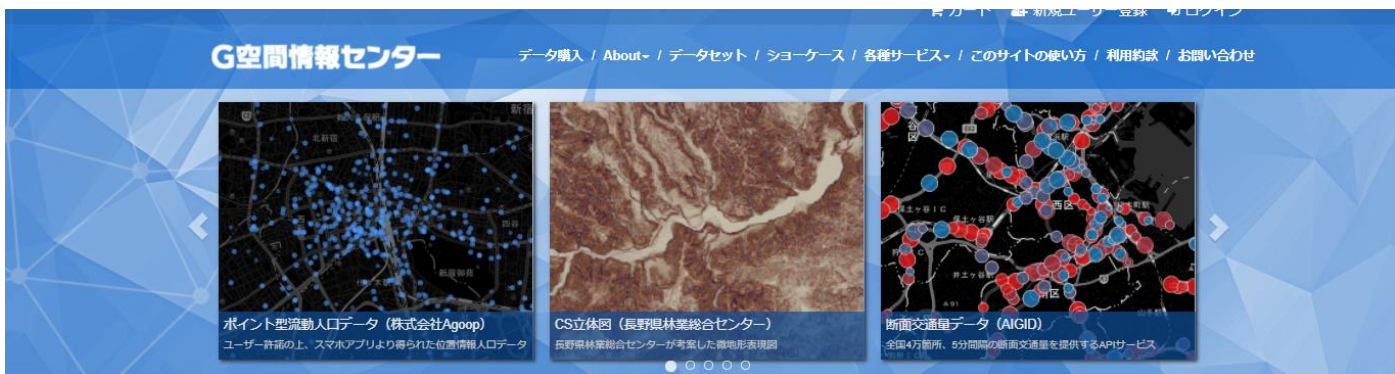


関本 義秀

(一社) 社会基盤情報流通推進協議会 代表理事
(東京大学空間情報科学研究センター 教授)

1. G空間情報センター 運営開始5周年を迎えて

2016年11月に運営を開始したG空間情報センターは、おかげさまで5周年を迎えることができました。皆様のご支援のもと、登録データファイルは5万5千件、登録組織数は550件を超え、日々その数は増加しています。また、産官学を問わず組織の壁を越えた多様なデータの統合・融合と価値創出実現の場として、G空間情報センターのデータを軸とした様々なプロジェクトが展開されています。



G空間情報センターは、産官学の様々な機関が保有する地理空間情報を円滑に流通し、社会的な価値を生み出すことを支援する機関です。平成24年3月に政府で閣議決定された地理空間情報活用推進基本計画に基づき、設立され、一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会が運用を行っているものです。詳細はこちらをご覧ください。

データセットから探す

データセット数	ファイル数	登録組織数
7251 件	56,033 件	571 件

データセットへ >

条件から探す

×
 ×

図 G空間情報センター トップページ (<https://www.geospatial.jp>)
(2021年11月1日時点)

2. G空間情報の流通・利用促進のための活動

G空間情報センターの運営を担う（一社）社会基盤情報流通推進協議会（AIGID）は、G空間情報センターを核としてG空間情報の流通・利用促進のための活動を広げてきました。

G空間情報を用いた課題解決を目指した取組みの一例として、地方公共団体のオンライン電子納品を支援する「My City Construction」、市民協働投稿サービス及び道路損傷検出サービスを備える「My City Report」があります。いずれも利用者数は順調に増えており、My City Constructionは静岡県を始めとする12自治体が参加、My City Reportは千葉市を始めとする14自治体で導入いただいています（2021年11月現在）。

また、三次元デジタルツイン環境の構築を目指す「デジタルシティサービス」に関連して、今年度から「デジタル〇〇の輪」と題し、産官学問わずデジタルによる各地域の未来を考えたいすべての方を対象とした勉強会を定期開催し、より活用の機会を広げるべく取り組んでいます。

更に、G空間情報センターのデータハブとしての取り組みとして、国土交通省が運営する国土交通データプラットフォームとの連携や、都市局の「Project PLATEAU」で整備された各種データやプログラムの公開も実施しています。

今後も、産官学の垣根を越えて多くの皆様と協働しながら、多様なデータの統合・融合を目指した活動を多方面で展開して参ります。引き続きG空間情報センターをよろしくお願いたします。

3. 【12/7開催】記念シンポジウムのご案内

G空間情報センター運営開始5周年の節目にあたり、記念シンポジウムを開催します。G空間情報センターのこれまでの振り返り、最新動向をお伝えするとともに、産官学の様々な立場の皆様を交えて私たちが今後担う役割、目指す方向性についてディスカッションします。是非ご視聴ください。

日時：2021年12月7日（火）14：00～16：00

形式：Youtube Live

備考：参加無料

G空間情報センター設立5周年記念シンポジウム詳細・事前申込みは[こちら](#)

2.上位アクセス状況(集計期間：2021.9.1-10.31)

登録ユーザー数	9,803名
期間アクセス数	376,609
登録組織数	571件
データセット数	7,237件
ファイル数	55,969件

人気のデータセット

1	3D都市モデル (Project PLATEAU) 東京都23区
2	3D都市モデル (Project PLATEAU) ポータルサイト
3	3D都市モデル (Project PLATEAU) 東京都23区 (FBX 2020年度)
4	全国の人流オープンデータ (1kmメッシュ、市町村単位発地別)
5	3D都市モデル (Project PLATEAU) 東京都23区 (CityGML 2020年度)
6	静岡県 富士山南東部・伊豆東部 点群データ
7	3D都市モデル (Project PLATEAU) 東京都23区 (OBJ 2020年度)
8	3D都市モデル (Project PLATEAU) 東京都23区 (FBX 4次メッシュ 2020年度)
9	3D都市モデル (Project PLATEAU) 大阪市 (2020年度)
10	3D都市モデル (Project PLATEAU) 札幌市 (2020年度)

3. 最新のお知らせ

G空間情報センターの最新のお知らせは[こちら](#)

最新のデータ公開情報は[こちら](#)

残席あります！☆11月17日(水) 19：00-

[カジュアルオンライントーク『G空間情報を防災に活かしたい。現場・市民目線の実情と課題』](#)

最新のイベントをいち早くキャッチしたい場合は、ぜひPeatixでフォローをお願いします☆

G空間情報センターイベント最新情報は[こちら](#)からフォロー(Peatix)

4. ユニバーサル社会の実現に向けた歩行者移動支援に関する取組 (バリアフリー・ナビプロジェクトの紹介)



株式会社パスコ 中央事業部
空間情報コンサルタント室
岩崎秀司

国土交通省が検討を進めるバリアフリー・ナビプロジェクト（ICT を活用した歩行者移動支援の推進）について、データ整備等に携わっている株式会社パスコ（以下、当社）からご紹介します。

車いす使用者やベビーカー利用者は、道路上の段差や急な坂道、幅の狭い歩道等が通行できないことがあります。しかし、このようなバリアとなる箇所の情報は、電子データ化されていない場合が多く、障がい者等が目的地までどのような経路で移動できるかを事前に確認することは容易ではありません。

そこで、バリアフリー・ナビプロジェクトでは、ユニバーサル社会の構築に向けて、車いすの方やベビーカー利用者が通行できる（いわゆる）バリアフリールート案内のために必要な情報（歩行空間ネットワークデータ等）を整備してオープンデータとして公開し、多様なサービス創出に向けた環境整備を行っています。

当社では、東京オリンピック・パラリンピック競技会場周辺や全国複数の都市で道路上のバリアフリー状況を調査して、歩行空間ネットワークデータの整備を行っており、これらのデータは、G 空間情報センターや歩行者移動支援サービスに関するデータサイトにおいて公開（G 空間情報センターのデータセットページは[こちら](#)）されています。

障がい者は、個人の障がいの状況等に応じて通行可能な経路が異なるため、きめ細かくバリアフリールート案内するためには、多様なサービスが必要となります。皆様も、誰もが歩きやすい環境のユニバーサル社会実現に向けて、G 空間情報センター等で公開されている歩行空間ネットワークデータを利用した新たなサービスの分野の事業に是非参画していただきたいと思っております。

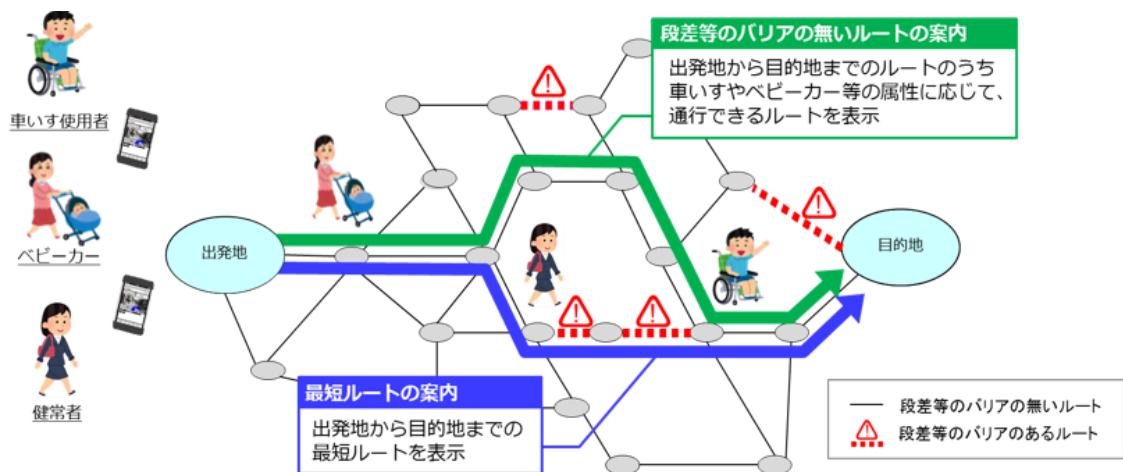


図 バリアフリー・ナビプロジェクトのイメージ

(出典：国土交通省 HP URL：

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_mn_000002.html)

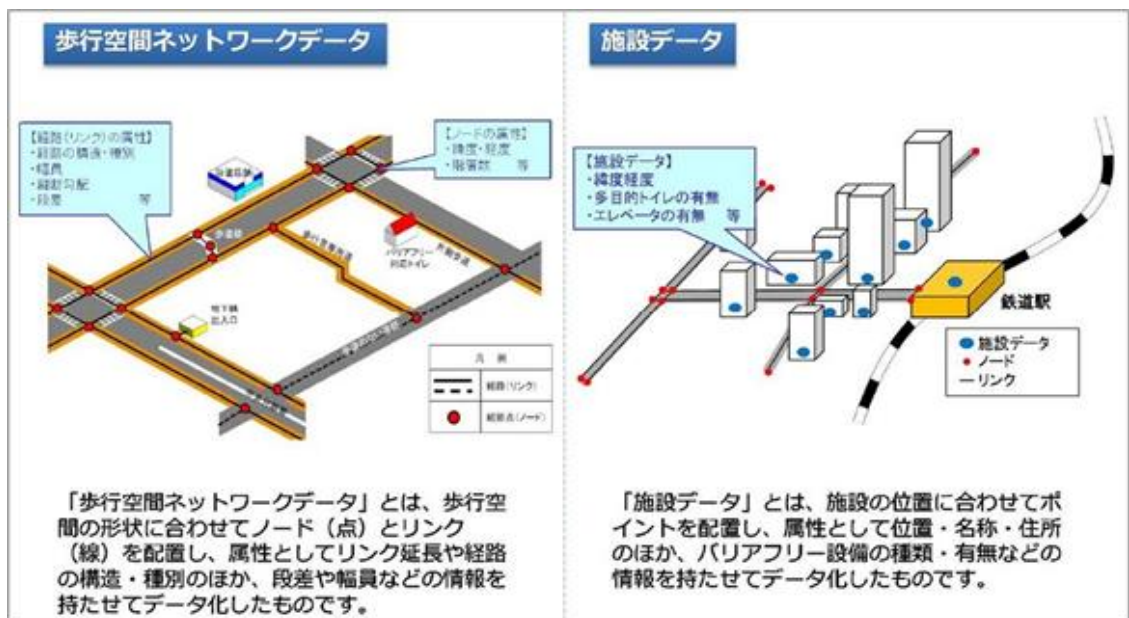


図 バリアフリー情報をデータ化した歩行空間ネットワークデータ等のイメージ

(出典：歩行空間ネットワークデータ等整備仕様(2018年3月)

国土交通省政策統括官付をもとに加工)



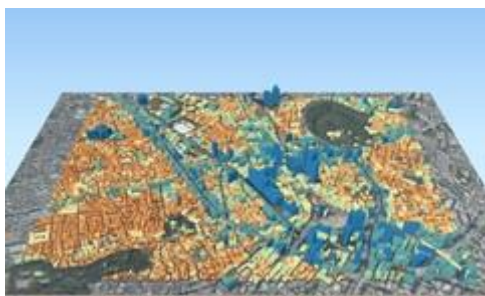
写真 道路のバリアフリー状況に関する調査の様子

【参考】

- ・国土交通省 HP「バリアフリー・ナビプロジェクト (ICT を活用した歩行者移動支援の推進)」：
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_mn_000002.html
- ・歩行者移動支援サービスに関するデータサイト：<https://www.hokoukukan.go.jp/top.html>
- ・G 空間情報センター 歩行空間ネットワークデータ等公開ページ：
<https://www.geospatial.jp/ckan/dataset/0401>

5. 注目のコンテンツ紹介

3D 都市モデル(Project PLATEAU)



QGIS3.16 以降で CityGML を読み込めると伺ったので、試してみました。可視化には、少し工夫が必要ですが、色々な分析に使えるそうです！

図は目黒駅周辺の 4 メッシュです。

対象データセットは[こちら](#)

6. 寄稿募集



G 空間情報センターが配信するニュースレター及びメールマガジンに掲載させていただく寄稿を募集しております。

G 空間情報に関わる活動・事業・研究・事例など、専門的ではなくても皆様が G 空間情報に関して興味をお持ちいただいていることなど、是非紹介させていただければと思います。

採用させていただいた方には、G 空間情報センターオリジナルグッズをプレゼントさせていただきます
☆

応募要項等詳細は[こちら](#) (PDF)

ご意見・ご要望について

G 空間情報センターは、高度な地理空間情報社会の実現と皆さまの事業の発展に寄与・貢献できることを目標としています。

当センターへのご要望、ご意見、ご助言等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。
最後までお読みいただき、ありがとうございました。

G 空間情報センターのユーザーアカウント登録は、[こちら](#)

G 空間情報センターのご要望、ご意見は、[こちら](#)

一般社団法人 社会基盤情報流通推進協議会(AIGID)

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-10-5 代々木伊藤ローヤルコーポ 304 号室

メール : info@geospatial.jp

TEL : 03-6455-1845

※当ニュースレターの内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。